

高校生の元気な声が

まちから消えたら…?!

県立松浦高等学校（以下「松高」）は、松浦市にある唯一の高等学校です。

皆さんは「松高が無くなったらどうなる…?!」と考えたことはありませんか？

もし、松高が松浦市から無くなった場合、これまで聞こえていた松高生の元気な声がまちから消え、松浦市は若者のいない活気のないまちになってしまいます。また、市内の子どもたちは市外の高校へ進学し、遠距離通学、下宿、入寮することになり、通学費や下宿費など、保護者への経済的負担が大きく増えることとなります。

同校への入学者数は年々減少しており、このままでは存続が危ぶまれます。

松浦市では、松高の存続、そして松高生の将来のために、さまざまな支援制度を設けて「松高の魅力づくり」を応援しています。



長崎県立松浦高等学校

- 校 長 渡邊久範
- 生徒数 273人
- 所在地 松浦市志佐町浦免 738-1
- 創 立 昭和 37年
- 校 訓

- ・「自己開拓」に全力を注ごう。
- ・正しい人間関係をきずいていこう。
- ・よき市民性を身につけよう。



▲松高マスコット まつどりー



「松高」ってどんな高校？

松高は、松浦市にある唯一の高校で、昭和37年に開校し、平成28年度には創立55周年を迎えます。これまで約9千人の卒業生を送り出しています。

小高い丘にそびえる校舎からは、美しい伊万里湾が見渡せます。

現在、松高の全校生徒数は273人。全日制課程で、平成26年4月に商業科が開設され、普通科と商業科の2学科で編成されています。

松高では「地域の生徒は、地域で育てる」をモットーに、地域と深く連携しながら松高独自の進学教育、即戦力を育てる就職教育を行っています。



ます。

日々の勉強とともに、生徒会活動や部活動も活発です。

松高陸上駅伝部は、平成25年に県大会で優勝し、悲願の全国大会へ出場して都大路を駆け抜けました。

県内で唯一のなぎなた部は、インターハイで2年連続で5位に入賞。また、平成26年に行われた長崎がんばらんば国体では、演技競技の部で見事全国優勝を果たしました。

放送部は全国大会に連続して出場し、好成績を収めています。

運動部、文化部ともに活躍し、松浦市を元気にしています。



「松高」への進学状況

1学年3学級（普通科2学級、商業科1学級）で編成されている松高の、各学年の定員は120人です。

近年の入学志願倍率は、平成24年度は普通科0・5倍、

魅力ある「松高」づくりへ

松高の生徒たちは、とても明るくて元気がよく、生き生きと活動しています。進学・就職の実績も年々上がってきています。

また、部活動では、なぎなた部や放送部が毎年全国大会に出場して上位入賞するなど、県内でも本校のような300人に満たない小規模校で、全国で活躍している高校は多くありません。



松浦高校 渡邊久範校長

25年度は普通科0・8倍、26年度は普通科0・9倍、商業科0・9倍、27年度は普通科0・8倍、商業科0・6倍と定員割れの状態が続いているのが現状です。

しかしながら、松高生の頑張っている姿が地域、特に市内の中学生に伝わっていないように思います。8月に開催するオープンスクールに、中学生の皆さん、保護者の皆さんにお越しいただいて、はつらつと活動している松高生の姿、松高の良いところを実際に見て、知っていただけたらと思います。

松浦市から松高の支援として全面的にバックアップしていただいています。市町村に一つしかない高校は県内に数校ありますが、松浦市のように全面的に支援している自治体は他にはありません。地域、松浦市と連携しながら、さらなる魅力ある高校にしていきたいため、本校も協力していきたいと思っています。

今後も松高存続、魅力向上にご支援よろしくお願ひします。